

DEREK PRINCE
MINISTRIES INTERNATIONAL

ディボーション

戒めを憎まない



日 153/168
Word from the Word
著者 デレク・プリンス

これはデレク・プリンスがあなたにお届けする、御言葉からのメッセージです。

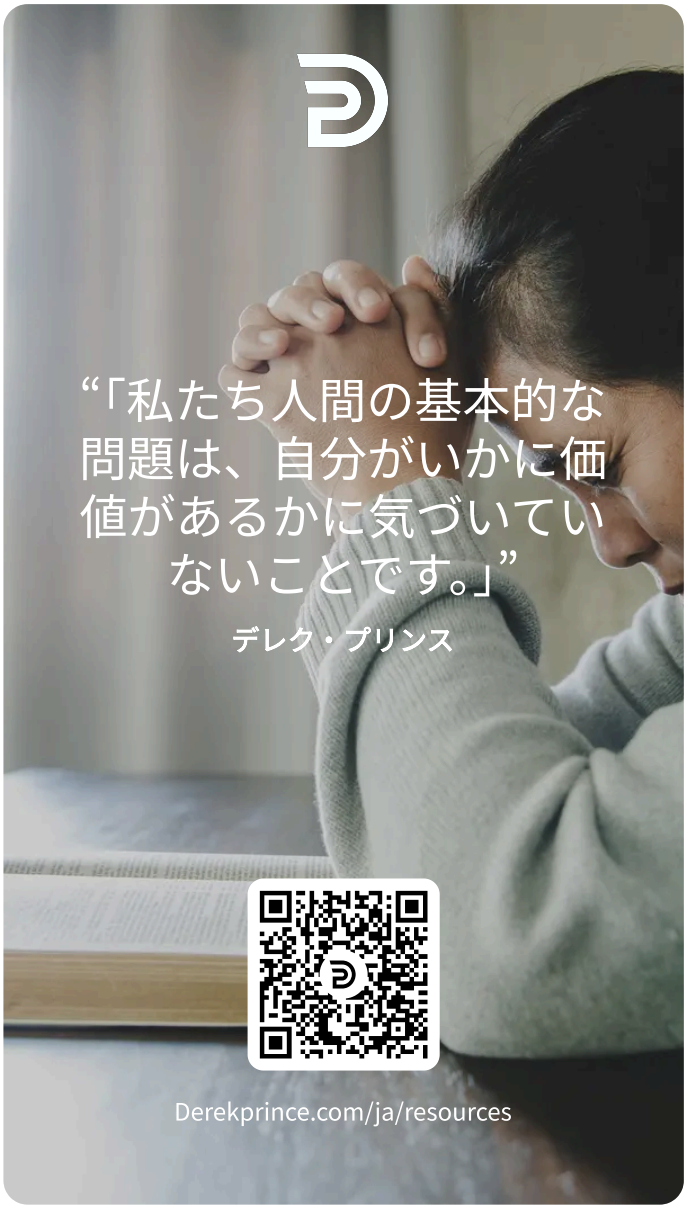
> 「そして、あなたの終わりに、あなたの肉とからだが滅びるとき、あなたは嘆くだろう。そのとき、あなたは言おう。『ああ、私は訓戒を憎み、私の心は叱責を侮った。私は私の教師の声に聞き従わず、私を教える者に耳を傾けなかった。私は、集会、会衆のただ中で、ほとんど最悪の状態であった』と。」

これは、長年にわたって義の道を知っている人、教会に定期的に通っている人のことばです。説教者が正しいことを言ったときに「アーメン」と言うことを知っている人、讃美歌をたくさん覚えている人、大きな集会で祈っている人かもしれません。しかし、その人は自分が学んできた真理に心から従順になったことが一度もありません。その人は、頭ではわかっていたのに、心でそれを信じて従うことをしなかった、すべてを逃したことに気づくのが遅かった、という彼の人生の終わりを描いています。

驚くべきことは、イエスが偽善者について語ったとき、特別な言葉が使われていることです。イエスは、偽善者の終わりは、「泣き叫んだり、歯ぎしりしたりする」と言われました。私は、なぜ偽善者について特にその言葉を使っているのかと考えました。それは、偽善者たちはすべてを知っていながら、決してそれに従わなかったからだと思います。そして人生の終わりに、滅びのただ中で自分が拒絶されていると気づく、特別な皮肉、苦しみです。長年、教会に座り、正しいことを知っており、表面的にはその通りだと思っていたけれども、その心は決して変わることがなかったのです。本当の明け渡し、献身、イエスを人生の真の主とすることが決してなかったのです。

© 1970 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク

ディボーション ★
原稿: WD-WFTW-153-JPN
最終更新日: 24 Sept 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources



© 1970 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク